

交通案内



所在地 ふじみ野市滝 1-5, 6

見学のときは、駐車場がないので、公共交通機関を使ってね。

東武東上線上福岡駅から西武バス「大宮駅西口」行き乗車、中福岡バス停下車徒歩 10 分



作製

ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館
文化財保護係

〒356-8501

埼玉県ふじみ野市福岡 1-1-1

TEL. 049-220-2088 (直通)

2013. 04



埼玉県指定史跡

権現山古墳群

現代に残る数少ない古墳時代初期の古墳群

権現山の樹木

■現在の権現山周辺は背の高い木々に覆われています。これらの木々はクヌギ、コナラ、シデといった落葉広葉樹が中心で、秋には一斉に落葉します。こういった林のことを雑木林（ぞうきばやし）と呼んでいます。この林は人が手を入れて作り上げてきたもので、また雑木林を維持するのにも人の力が必要です。

関東地方の平野の気候では、人が手を入れない森林は本来、冬に葉が落ちない常緑のシイやカシが主になる常緑広葉樹のうっそうとした森になります（この状態を極相林（きょくそうりん）といいます）。しかし人里に近い森は、人々が生活するために森から多くのものを得られるよう手を入れるので、極相林となる途中の段階が続くこととなります。

■かつては炊事にかまどを用い、燃料は薪でした。木を伐採しているうちに、切株から再生する樹種が残ったのです。



また、秋に大量に降りそそぐ落葉は、腐葉土にすることで田畑の肥料に用いられ、農耕に欠かせないものでした。

クヌギやコナラはそういった利用に適した木だったので、林の木の多数を占めるようになりました。一つの根元から複数の幹が伸びているのが、一度伐採されたことのある木で、雑木林の特徴でもあります。

■ふじみ野市北部に残された数少ない平地林であるこの地は、特別緑地保全地区に指定されており、許可なく植物や土壌の採取をすることは禁じられています。